

東京商工会議所 国際経済委員会
中小企業の国際化支援に関するアンケート 調査結果

平成22年9月30日

【調査目的】中小企業が国際ビジネスを展開する際の障壁を把握し、どのような支援があれば海外進出に踏み出せるかを明らかにすること。

【調査対象】東京商工会議所会員のうち、以下の業種および条件により無作為抽出した中小企業5,021社

- 製造業 (資本金3億円以下、従業員50人以上)
- 卸売 (資本金1億円以下、従業員10人以上)
- 情報通信 (資本金3億円以下、従業員50人以上)
- 小売 (資本金5千万円以下、従業員10人以上)
- 士業・コンサル (資本金5千万円以下、従業員10人以上)
- 教育・学習 (従業員50人以下)
- 医療・福祉 (従業員50人以下)

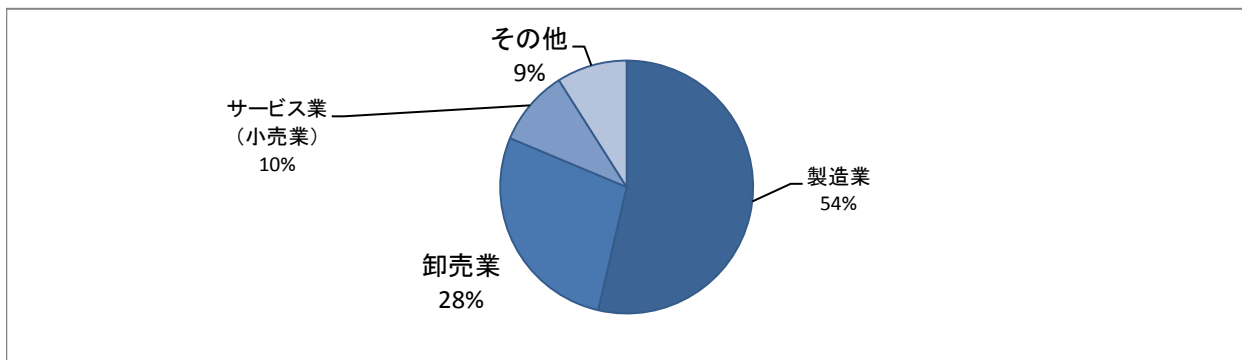
【調査期間】平成22年5月11日(火)～5月18日(火)

【調査方法】アンケート調査票をファクシミリにより調査対象企業に送信

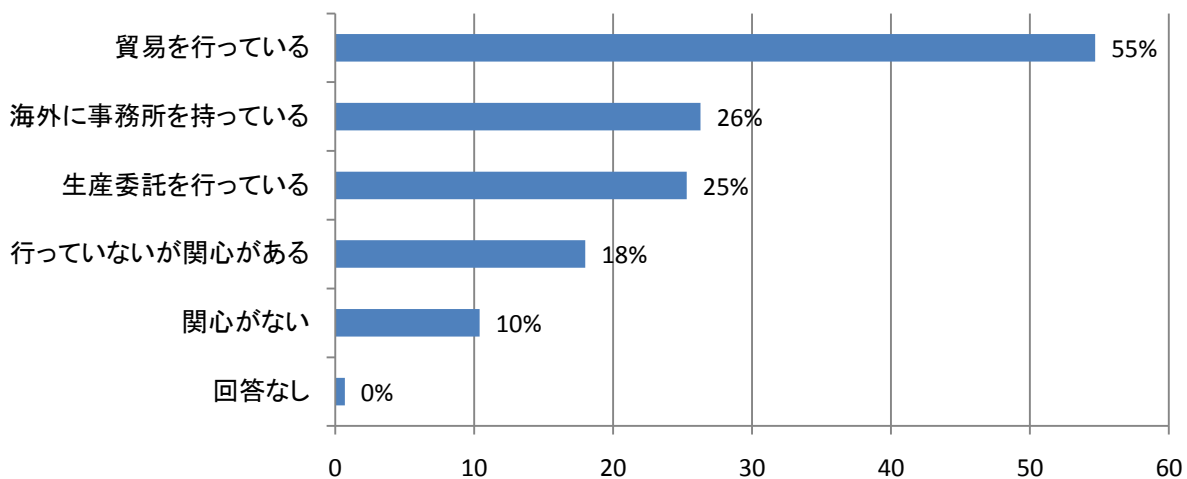
【有効回答】計289社(回収率6%)

(※)%表記は小数点一位を四捨五入したもの。

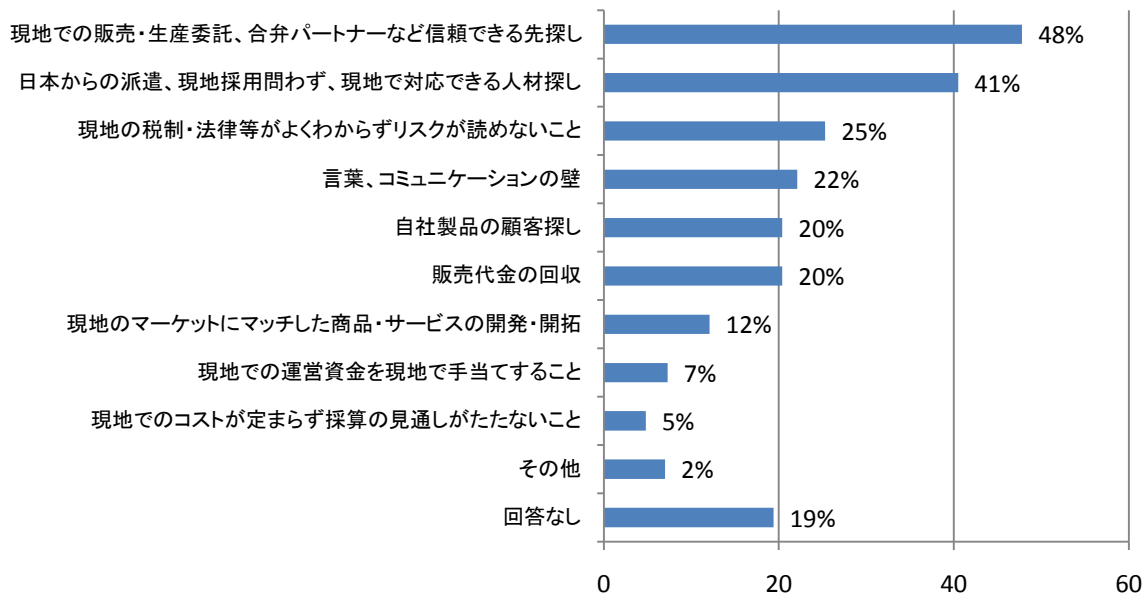
回答企業の業種(単一回答)



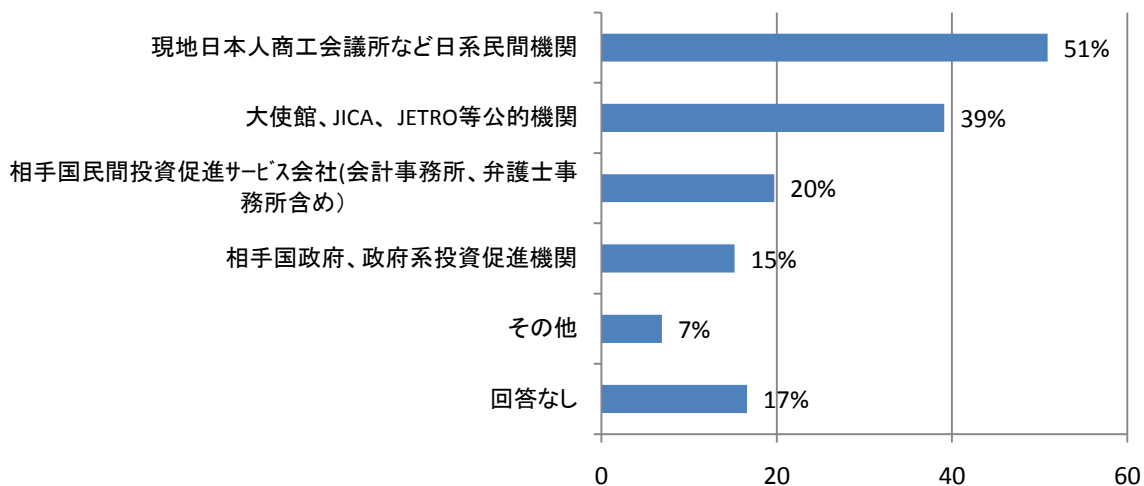
設問1 海外ビジネスの経験の有無について(複数回答可)



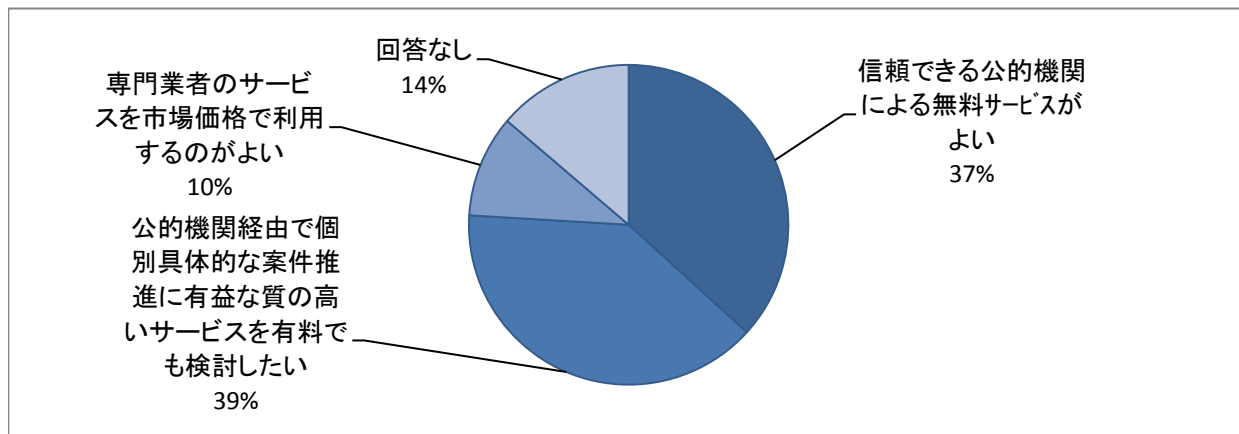
設問2 現地生産または販売を行なう場合の「困難さ」はどこにありますか(3点まで複数回答可)



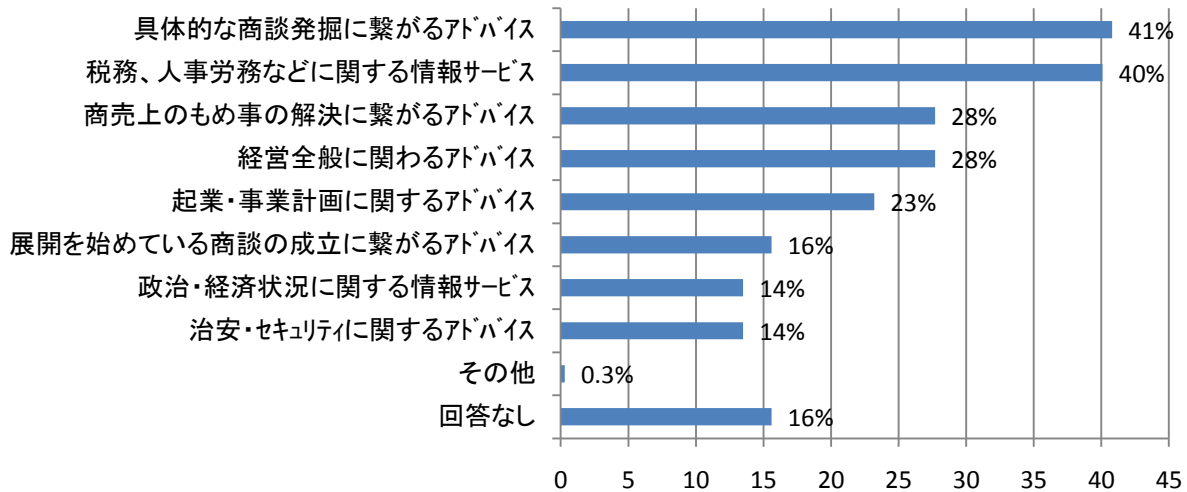
設問3 現地で(出張等で)アドバイスを受けた(受けたい)先はどちらですか(2点まで複数回答可)



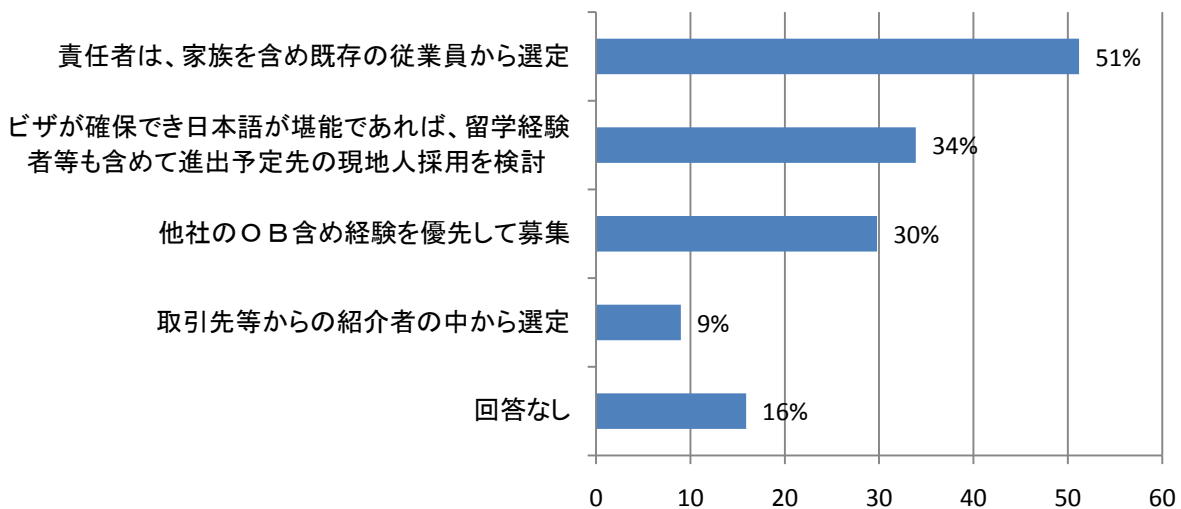
設問4 ビジネスを実現する上での「中小企業国際化」支援サービスに対する要望で最も近いものはどれですか。(単一回答)



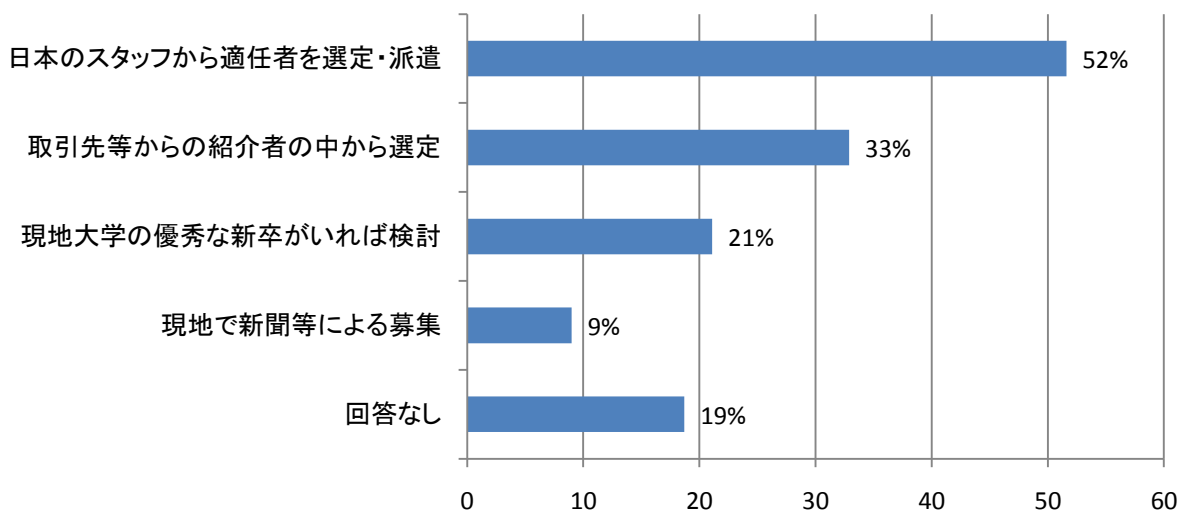
設問5 有料であっても現地で利用したいサービスはどれですか(3点まで複数回答可)



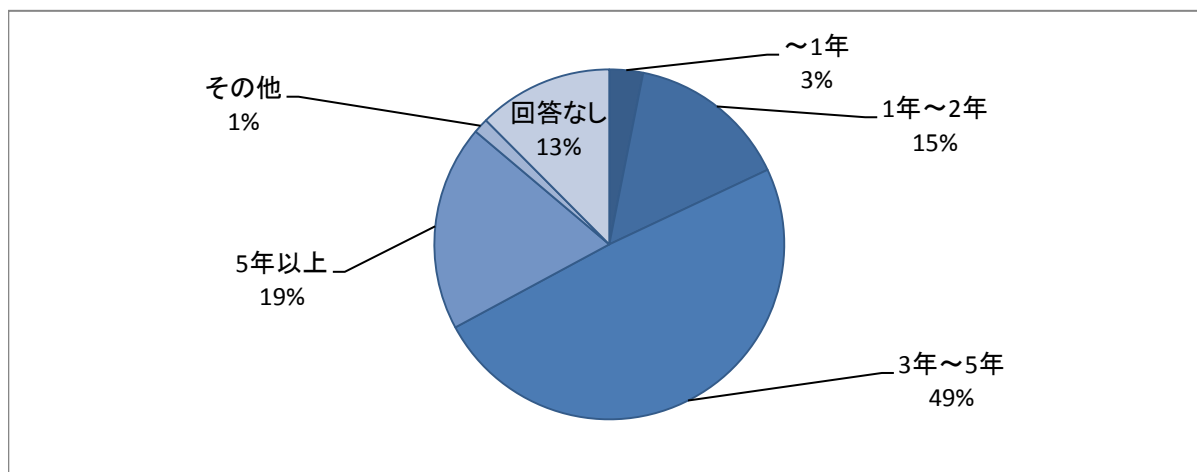
設問6 海外ビジネス要員確保の方法に関して貴社の考えに最も近いものはどれですか【日本国内】(2点まで複数回答可)



設問7 海外ビジネス要員確保の方法に関して貴社の考えに最も近いものはどれですか【海外出先】(2点まで複数回答可)



**設問8 海外ビジネスを成功させるまでにどれくらいの期間がかかりましたか。
もしくは、どれくらいの期間が必要と考えていますか(単一回答)**



以上